



小鹿 昭義 議員

町の有害鳥獣駆除への対策は効率的な体制作りにも努めている

〔小鹿昭義議員〕

町内において熊の目撃情報
が相次いでいる。町でもハン
ターや職員によるパトロール
や罠設置など警戒を強めてい
たが、7月に大変痛ましい事
故が発生してしまった。

この度の事故を受けて、町
として有害鳥獣駆除に携わる
人材確保等への対策について
伺う。

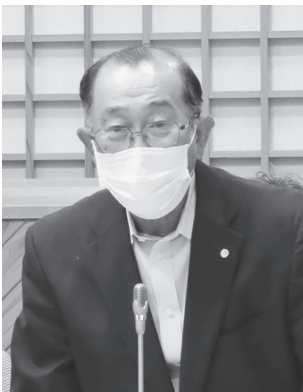
駆除する方の作業軽減等を
考えると、処理施設の整備は
必要不可欠だ。以前4町での
対応を検討していると述べて
いたが、現在の他3町との協
議状況について伺う。

〔鳴海清春町長〕

町ではこの度の事故を受け
出沒地域への対応の強化に努
めているが、改めて亡くなら
れた方に対しご冥福をお祈り
します。

1 点目の有害鳥獣駆除に携
わる人材確保等への対策につ
いては、現在行っている狩猟
免許取得等助成金等制度の充
実、捕獲個体の搬出や解体作
業等の補助など、効率的な有
害鳥獣駆除ができる体制づく
りに努めている。

2 点目の駆除後の処理施設
整備に向けた協議状況は、広
域事務組合の参与幹事会にお
いて、衛生センター敷地内の
土地使用の可否を構成町に提
案したところ各町も参画した
い旨の意見があり、現在、当
町が幹事町となり協議を進め
ている。今後のスケジュール
は、令和4年度に各町との調
整を行い、令和5年度の施設
建設を予定している。



佐藤 孝男 議員

防災マップの見直しを令和4年度に改訂を予定

〔佐藤孝男議員〕

最近の新聞報道による津波
想定情報では、当町の津波到
達が道南で1番早く、海岸線
の民家はほぼすべてが浸水範
囲に含まれている。町が発行
した防災マップを改めて注視
し、町長に次の点について伺う。

- ① 避難施設について、ほとん
ど津波の高さに対応してい
ないが、対策は。
- ② 到達時間が早いのが、どのよ
うな対策を取るのか。
- ③ 冬季の避難路と避難場所の
確保はどうするのか。
- ④ 千軒地区の防災無線には雑
音が入り、内容を聞き取れ
ないことが頻繁にあるが改
善に向けての対応は。
- ⑤ 日頃の河川の点検や危険個
所などの把握はどのよう
になっているのか。

〔鳴海清春町長〕

津波発生時の住民対応は、
まず、自分の命を守る行動を
第一優先に、高台等に避難す
ることが大事になる。

① 津波発生の際は各地域の高
台に一時避難していただ
き、その他の災害に際して
は町内会館を活用する。

② 避難する習慣づけのため避
難訓練の充実に努める。

③ 前段の回答と同様になる
が、積雪で使用出来ない場
合も想定される。

④ 保守業者と協議中であり、
根本的な解決策を検討する。

⑤ 関係機関と協力しながら河
口付近を中心に定期点検や
土砂の浚渫を計画的に実施
している。

防災マップは、今回の想定
内容に基づき令和4年度に改
訂する予定となっている。

一般質問

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



木村 隆 議員

マイナンバーによる証明書等のコンビニ交付は費用対効果の面から現時点では難しい

【木村 隆議員】

当町では昨年11月からマイナンバーカードの普及促進を行っている。マイナンバーカードを所有するメリットとして、身分証明書や保険証としての利用やコンビニで公的証明書の取得ができる等が上げられるが、次の点について伺う。

- ① 町におけるマイナンバーカードの普及状況
- ② マイナンバーカードの利用方法等の周知
- ③ 証明書のコンビニ交付の可能性は

【鳴海清春町長】

町では国が進める行政のオンライン化とデジタル改革の推進を図るため、昨年11月から休日にマイナンバーカード臨時窓口を開設、高齢者の方でも取得できるようサポートしながら普及促進に努めてきた。

- ① 8月29日現在、1,700人が取得、交付率は道内で5番目に多い44・05%。
- ② 町広報・各戸配布による周知を行うが、マイナポータルの操作方法に関する支援等、高齢者に寄り添った対応に努めていく。
- ③ 行政のオンライン化、町民の利便性向上等の観点からコンビニ交付は必要なものと認識しているが、導入に要する費用を考えた場合、現時点では難しい。

SDGsに特化した取組を学習機会の創出に努めます

【平沼昌平議員】

国連が提唱するSDGsが策定されて5年余りたつ。2020年からは「行動の10年」がスタートし、子供たちに学びの場を提供するなど動きが広がっている。

日本では新しい学習指導要領がスタートし、「持続可能な社会の創り手の育成」が求められている。育成すべき資質・能力の3本柱として知識や思考力などと合わせ人間性があり、象徴となるのがSDGs学習だと言われており、当町のSDGs教育環境の現状と今後の方向性について伺う。

【小野寺則之教育長】

当町においては、小学校6年生の社会科で国連の学習の際に持続可能な開発目標SDGsの意義や目標の内容について学習している。また、小学校、中学校において社会科・道徳・総合的な学習などの科目で、環境問題・人権問題・住み続けられるまちづくり等について持続可能な開発目標を意識した学習を行っている。将来を担う子供たちに持続可能な地域や産業の担い手となるために、必要な資質・能力が育成されるよう、SDGsの考え方について、学習機会の創出に努めていく。



平沼 昌平 議員

「SDGs」
これってどういう意味？

持続可能な開発目標のこと。世界中にある環境問題等の課題を2030年までに解決していくこととする取り組み。17の目標を169項目に分けて構成されている。

一般質問

町内外へ縄文土器の積極的なPRを

PR・展示の方法について工夫していく

【平沼昌平議員】

北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録されることとが決定した。当町にも乏しいものの遺物である土器などをチロップ館等で展示している。また、7月から実施されている縄文展示施設を巡るスタンプラリーはチロップ館も対象となっている。他町では工夫を凝らして保管体制を整えて対応しているが、当町としては、土器の取り扱いや保管体制、他市町との連携をどのようにされるのか伺う。



平沼 昌平 議員

【小野寺則之教育長】

当町の縄文遺跡は目に見える集落跡として復元・保存されていらないため登録対象となっていないが、北海道主催の「北の縄文スタンプラリー」にチロップ館が参加し、連携を図っている。今後の展開として当面はチロップ館を中心とした展示を継続していくが、将来的には他の施設での活用に向けて検討を進めていく。

教育的・観光的な区分では考えていなく、生涯学習事業を通じて縄文文化に触れる機会を作り、「道南の縄文時代」をテーマとした巡回展示など、他町と連携を図っていく。

【鳴海清春町長】

館崎遺跡等出土品については、チロップ館の展示に加え、既存施設での展示にも活用しているが、現時点では教育目的に主眼を置き、観光面での活用は難しいと考えている。

令和2年度 議会費の使われ方

コロナ禍で研修等の中止が大きく影響!!

(単位：千円)

区分	R元	R2	令和2年度の支出概要
報酬	23,581	24,496	・歳費24,456 ・諮問会議委員報酬40
給料	10,582	10,755	・事務局職員3名、会計年度任用職員1名
手当等	15,726	14,663	・議員期末手当10,430 ・職員期末手当等4,233
共済費	13,370	12,162	・議員共済等負担金8,221、職員共済費3,941
賃金	2,079	0	・R2より会計年度任用職員となったため「給料」で計上
報償費	0	0	・専門的審査、調査謝金
旅費	1,207	117	・普通旅費91 ・職員旅費18 ・委員費用弁償8
交際費	108	62	・祝儀10、接待5、土産5、香典10、供花11、後援15、協賛金3、会費3
需用費	1,005	793	・消耗品費171 ・追録代9 ・購読料29 ・議会だより印刷製本費584
使用料・賃借料	163	165	・インターネットサーバスペース使用料41 ・議会インターネット中継回線利用料124
備品購入費	265	14	・会議録作成ソフト ほか
負担金・交付金	1,006	968	・管内議長会等360 ・四町議員協議会85 ・議員公務災害補償組合負担金等69 ・政務活動費454
償還金・利子	4,324	4,298	・議会中継システム譲受代金年賦金1,084 ・議場等音響設備譲受代金年賦金3,214
合計	73,416	68,493	※事務局職員3名、会計年度任用職員1名分の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。